H28.8.17 奈良県がん対策推進協議会資料

# がん検診受診率向上の取組と成果

健康福祉部健康づくり推進課

### なら健康長寿基本計画

#### なら健康長寿基本計画と関連計画の関係

「奈良健康長寿基本計画」から抜粋



計画期間: H25~H34(10年間)

最終目標:10年後の健康寿命を男女

とも日本一にする

## 健康寿命日本一

基本的 方向性 要介護とならないための 予防と機能回復の取組の 推進

若くして亡くならないための 適時・適切な医療の 提供

#### <u>5つの柱の推進</u>

- → 基本計画及び関連計画に基づき対策を推進
- (1)健康的な生活習慣の普及 (→運動、食生活、禁煙等の普及)
- (2)要介護原因となる疾病の減少

(→健診による高血圧、糖尿病等の早期発見)

(3)要介護とならないための地域の対応

(→介護予防や機能回復の取り組み)

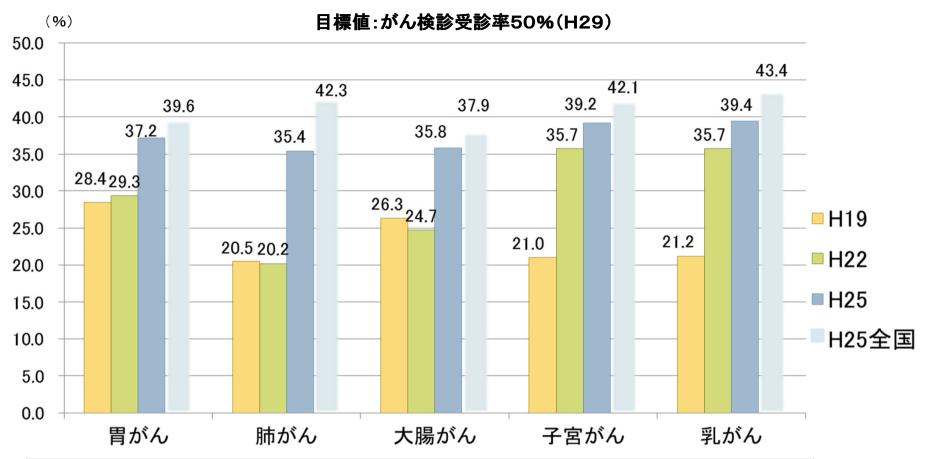
(4)早世原因となる疾病の減少

(→がん、心臓病、精神疾患等の早期発見)

(5)早世・疾病の重症化を防止する医療体制の充実

(→がん、脳卒中、急性心筋梗塞等の医療提供体制の構築)

# 国民生活基礎調査からみる奈良県のがん検診受診率の推移 (人間ドック・職場のがん検診・市町村がん検診等を含む)



奈良県のがん検診受診率全国順位(国民生活基礎調査)							
	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん		
H25	36位	46位	34位	40位	40位		
H22	40位	44位	34位	36位	38位		
H19	35位	42位	24位	45位	42位		

## がん検診推進事業

### (健康寿命を延長する取組推進モデル事業の取組・がん予防推進員の養成)

# H25年度

## H26年度

# H27年度

#### 【個別受診勧奨·再勧奨】

- 〇生駒市(大腸がん再勧奨)
- ○葛城市(子宮がん受診勧奨・再勧奨)

#### 【個別受診勧奨・再勧奨】

- 〇天理市(5がん受診勧奨)
- 〇川西町(大腸がん受診勧奨・再勧奨)
- 〇王寺町(子宮・乳がん受診勧奨・再勧奨)

#### 【がん検診受診率調査等】

がん検診受診の市民実態調査と効果的対策の検討の実施(五條市)

#### 【個別受診勧奨・再勧奨】

〇天理市(5がん受診勧奨)

胃がん: **受診者数1.6倍** 肺がん: **受診者数1.7倍** 大腸がん: **受診者数1.3倍** 

- 〇桜井市(胃がん受診勧奨・再勧奨) 受診者数4.4倍
- 〇五條市(胃がん・乳がん受診勧奨・再勧奨)

胃がん: 受診者数1.2倍 乳がん: 受診者数1.4倍

- 〇御所市(胃がん受診勧奨・再勧奨) 受診者数1.8倍
- ○葛城市(胃がん受診勧奨・再勧奨) 受診者数2.1倍
- 〇川西町(子宮がん受診勧奨再勧奨) **受診者数2.0倍**
- 〇王寺町(肺がん受診勧奨・再勧奨) 受診者数2.1倍
- 〇広陵町(胃がん受診勧奨・再勧奨) 受診者数3.8倍
- 〇下市町(胃がん・肺がん受診勧奨・再勧奨)

胃がん: 受診者数1.8倍 肺がん: 受診者数2.0倍

(受診者数の伸び:胃・肺・大腸は前年度比、乳・子宮は前々年度比)

#### 【効果検証·報告会等】

- ◆8月・3月
- ○国立がん研究センターの専門家の 助言等
- 〇取り組み成果の情報共有

#### 【効果検証·報告会等】

- ◆10月・3月
- ○国立がん研究センターの専門家の 助言等
- ○取り組み成果の情報共有

#### 【効果検証·報告会等】

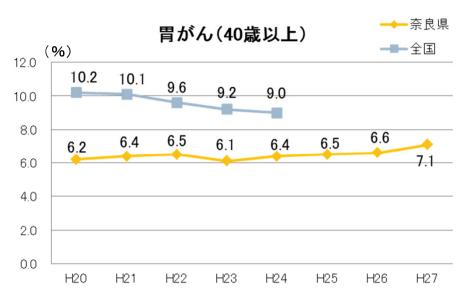
- ◆6月・11月・3月
- ○国立がん研究センターの専門家の助言等
- ・受診者数の伸びは、全国的に見てもトップ
- ・県が市町村の取組を支援していることは評価 できる
- 〇取り組み成果の情報共有
- ・成果の上がった他の市町村の取り組みは大変 参考になる

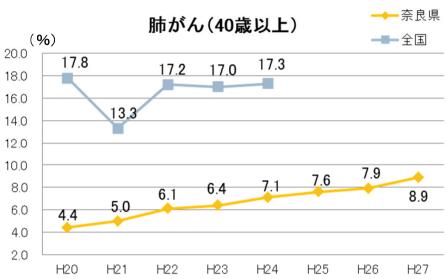
#### がん**予**防推進員養成事業 (王寺町)

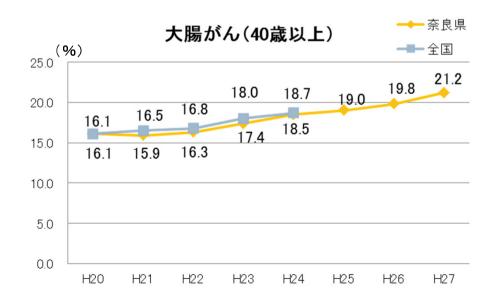
がん予防推進員養成事業 (天理市・宇陀市・香芝市・下市町) がん予防推進員養成事業(三郷町・高取町)

※がん予防推進員:がんに関する正しい知識及びがん検診の必要性に関する理解を深め、自ら積極的に がん検診を受けるとともに、家庭や地域など、草の根レベルでがん検診の受診を促す。

# 市町村が実施するがん検診受診率の推移



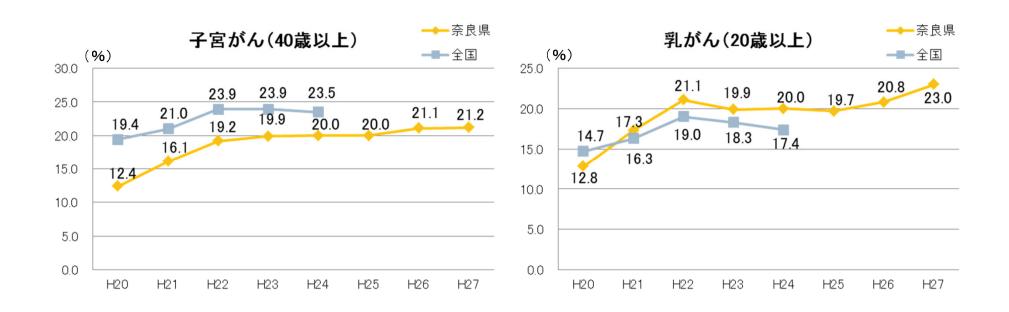




出典:国立がん研究センター 「がん情報サービスホームページ」より

※受診率算出の基礎となる受診者数は、各市町村からの 報告(地域保健・健康増進事業報告)に基づく。 ただし、全国のH25~26は未反映。奈良県のH27は速報値。

# 市町村が実施するがん検診受診率の推移



出典:国立がん研究センター

「がん情報サービスホームページ」より

※受診率算出の基礎となる受診者数は、各市町村からの報告(地域保健・健康増進事業報告)に基づく。 ただし、全国のH25~26は未反映。奈良県のH27は速報値。

# 受診勧奨・再勧奨に関する新たな補助制度の創設(H28年度~H30年度)

奈良県がん検診の受診勧奨・再勧奨支援事業補助金の概要について

平成28年度当初予算額 : 50.000千円

1 目 的

県民のがんによる死亡率を減少させるため、がん検診の受診率の 向上等に資する事業を行う市町村に対し、予算の範囲内で補助金を 交付する。

- 2 補助対象者 市町村
- 3 補助対象事業、補助対象経費及び補助額

がん検診受診率50%の目標を達成するため、**受診率向上の効果が実証された個別受診 勧奨・未受診者再勧奨(コール・リコール)**に取り組む市町村を支援

区分	市町村人口規模※(人)	補助基準額(千円)	補助対象経費	補助率	
	10万人以上	15,000			
	5万人以上10万人未満	10,000	がん検診受診勧奨・再勧奨を行うために必		
がん検診の受診勧	3万人以上5万人未満	5,000	要な、賃金、報償費、需用費(消耗品費、印	1/2	
獎·再勧奨事業	1万人以上3万人未満	3,000	刷製本費)、役務費(通信運搬費)、委託料、	1/2	
	5千人以上1万人未満	1,000	使用料及び賃借料		
	5千人未満	500			
がん予防推進員養 成事業		250	がん予防推進員を養成するために必要な、 報償費、旅費、需用費(消耗品費、印刷製 本費)、役務費(通信運搬費)、委託料、使 用料及び賃借料	1/2	

- 4 支援内容の考え方
  - ○がん検診の受診勧奨・再勧奨事業は、5つのがん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮頸がん)の40~69歳(子宮頸がん)な20~69歳)の対象者への、ソーシャルマーケティングの手法を活かした効果的な受診勧奨資材を活用した 個別受診勧奨及び未受診者再勧奨を支援する。
  - ○がん予防推進員養成事業は、がん検診に関する情報を身近な人に伝え、がん検診の受診を勧奨する住民の養成を支援する。



008

お検大